



迎春

居合道だより

第126号

はじめに

新年あけましておめでとうございます。

今年が会員の皆様一人一人にとって素晴らしい1年間になりますようにお祈り申し上げます。

元日の朝、初日の出を拝みにいった会員もいたことだろうが、元旦とは年の初めの朝。旦の字は日（太陽）の下に横一文字（地平線）である。まさに初日の出を表している。

地平線から現れる太陽を見ながら、自然への畏敬の気持ち、感謝そして新しい年の希望、決意いろんな思いが浮かんできたことだろう。

「一年の計は元旦に有り。」この厳粛な空気の漂う内には是非一年間の目標を立てたいものである。

今年の干支は酉である。鶏とも表す「にわとり」は古く神代の時代から人間と深い関係を持ってきた。

天照大神が天岩戸に隠れ、世界がことごとく闇になったとき、八百万（やおよろず）の神が常世長鳴鳥（とこよのながなきどり）を鳴かせ、天鈿女（あまのうずめ）命に舞わせて、天照大神を呼び出したという神話。鶏はまさに、太陽の神を呼び出す力があるという。

また酉は取り込む、運気を取り込めるということから、習い事で結果が得られるとも言われている。

若い頃、中々全日本で結果を出せず悩んで、いろんなことをやってみた。能を見たりクラシック音楽を聴きに行ったり、美術館巡りをしてみたり、そんな時、ある友人がチビシャモの話をしてくれた。体重1キログラムにも満たない小形の軍鶏である。軍鶏は気性が荒くその名の通り闘うために改良された鶏であるが、チビシャモはその容姿を愛でるのである。

早速連れて行ってもらい初めて見たが、見た瞬間笑ってしまった。あまりの衝撃に笑うことしか出来なかったのである。

小さな軀体で足から背筋までを一直線に伸ばし、胸を張った姿勢。通常立ち姿の鶏を横から見ると片仮名のイの字になるのだが、チビシャモは片仮名のトの字になるのである。

チビな鶏のくせに、唯我独尊とでも思っているのかと、思わず笑ってしまうユーモラスの反面、小さな軀にそぐわぬ威風堂々さ、泰然自若としたその様は、とてもじゃないがただ者ではないという雰囲気醸し出していた。まるでその小さな軀体の中に宇宙を秘め持っているようにさえ思えた。



莊子「達生篇」より『木鶏』

あるとき王が紀省子という鶏を育てる名人に最強の闘鶏を育てるよう命じた。

十日ほど経って王が鶏の仕上がり具合について下問した。

紀省子は「まだ空威張りして闘争心があるからいけません」と答える。

さらに十日ほど経過して再度王が下問すると「まだいけません。他の闘鶏の声や姿を見ただけでいきり立ってしまいます」と答える。

さらに十日経過したが、「目を怒らせて己の強さを誇示しているから話になりません」と答える。

さらに十日経過して王が下問すると「もう良いでしょう。他の闘鶏が鳴いても、全く相手にしません。まるで木鶏のように泰然自若としています。その徳の前に、かなう闘鶏はいないでしょう」と答えた。



1月の予定・会員の声

1月・2月の予定

1月9日（祝） 居合道初稽古会

福岡武道館

1月22日（日） 福岡県居合道地域稽古会

水巻町武道館

会員の声



北九州居合道同好会

二級 西岡 稜久（小6）

小学校3年生から始め3年の修業年数で、最初は新聞の広告で見て入門してきました。

最初のイメージは「刀を持って斬り合う」「刀で戦う」をイメージしていました。

入門前のイメージより実際やってみて思った以上に難しかったです。もっと簡単と思ってました。

今は稽古が結構楽しく、一つづつの技を覚えるのが楽しくて仕方ありません。今は古流も大森流を稽古しています。

稽古をしていて一番楽しいと思えるのは「難しい技ですっと斬れたと思った時が楽しいです」

好きな技は「5本目 袈裟斬り」苦手なのは「10本目 四方切り」で、足の運びや回転がブレる時があるので少し苦手です。

居合をやっていてよかった事は、居合は結構回転などで足を回すことが多いので、学校でスポーツなどをするときにもスムーズに体をさばけています。

今後もっとたくさんの技を覚えていきたいです。

居合道と私

高口茂雄

この度11月19日、東京で開催された審査会におきまして、居合道六段に合格することができました。ひとえにご指導いただきました無心館の菊次先生をはじめ、福剣連居合道部の諸先生方、並びに諸先輩方、居合を学ぶ同志の皆さんのお陰です。誠に有難うございました。

さて、私が居合道を始めたのは20年ほど前のことです。それまでは小学5年生から始めた剣道一筋に稽古を続けてきました。「竹刀と思うな刀と思え」、「当てただけでは一本じゃない」、「今のは切れたか」など、刀を意識しての稽古ではありましたが、実際には剣道形の稽古も木刀であり、地元の試合で模擬刀による剣道形を拝見、演武する以外、刀を見ることも振ることもありませんでした。いわんや真剣をや、といったところです。にもかかわらず「刀」という言葉ばかりが先走りしていたように思います。大学を終え就職しても剣道を中心に稽古をしていましたが、ある時、「剣道を志す者は最低限、刀の作法を覚える必要があるのでは」との助言を得て、無心館の門をくぐり故山下正光先生に師事したところです。当初から出来の悪い弟子に、先生も先輩も繰り返し繰り返し、我慢強く指導してくださいました。そのお陰で今回の結果を得ることができたのだと思います。まだまだ六段の実力はありませんが、今後とも諸先生、先輩のご指導を仰ぎながら、一步一步、確実に身に付けていきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願ひします。

話はかわりますが、居合道を学ぶにあたり、快く送り出してくれる妻や家族にも感謝しています。その妻とは居合道の稽古で知り合いました。妻はアメリカ人で、ALT（外国語指導助手）として来日しており、英語を教える傍ら弓道を学んでいました。当時は武道場と弓道場が同じ敷地内にあり、知り合うきっかけとなりました。妻との出会いを話すと、「奥さんの射た矢があなたのハートに付き突き刺さったんでしょ」などと言われますが、「私の剣が妻のハートを突き刺した」のだと思っているのは、私だけ？ また、妻をよく知る人から「奥さんは日本人より日本人らしいね」と言われることがあります。弓道を通じて、同じ武道の精神を学んだからこそではないかと思ひます。

とにもかくにも私の人生の大きな節目と居合道は切り離せないものですので、今後とも精進して早く六段の実力を身に付け、更に次の段位を目標に稽古に励みたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

居合道七段審査

平成 28 年 12 月 7 日 小倉剣道連盟居合道部・宮原芳樹

どこか違うと感じていても、自分の問題点はなかなか分からないものです。

9 月 25 日の伝達講習会で迫野先生から ” 切り ” が山になっていると指摘され、このままでは七段は無理と悟り、自分の居合を見直そうと剣道と杖道を封印し、居合道一本に絞り集中して稽古しました。

10 月初め、水巻武道館であった小田先生の稽古会で抜付け、斬り付けなど問題点を色々と指摘いただき、さらに一緒に稽古した同段位のライバルたちにも教えを乞うなど、問題点の克服に専念しました。

1 ヶ月半が過ぎた 11 月 13 日 (日) 再度、小田先生の稽古会に参加し審査への最終チェックをしていただいたが、この最中に背中に鋭い痛みを感じた。これが翌日、激痛に変わり、背筋を伸ばすことが出来ず、夕方には立ち上がることも厳しくなり、ただジッと寝ているだけで寝返りも打てない状態になった。夜に鍼灸をしている息子に鍼を打ってもらった。おかげで水曜日にやっと立ち上がり、ソロソロと歩けるようになり、近くの整形外科へ行くと、背筋を痛めており完治に 1 週間から 10 日と言われた。ブロック注射をされ痛み止めの錠剤と湿布薬をもらった。薬のおかげもあり、木曜朝には背筋を伸ばせ、夕方には刀礼が出来、続けて刀を持たずゆっくりと ” 形 ” をする事が出来た。

審査にはまだ 2 日あり、受けようと決め、夜に東京行きの準備をし、翌朝キャリーバッグを杖に空港へ向かった。

審査当日、会場で 6 日ぶりに刀を振ったが、痛みは感じるが激痛ではなく演武が出来ると確信した。

指定技を 3・6・10 と決め稽古するが、発表は 5・8・11 ですべて外れ開き直った。これが良かったのか審査ではいつもの ” 上がり ” がなく、演武中は隣の人息使いが分かった。

気負わず肩の力を抜いて、丹田に気を溜め込んで、手の内で切っ先に勢いを出すことだけに専念した。

怪我の巧妙か、結果は自分でも信じられないが合格だった。

長年 ” 自稽古 ” という形でコツコツと貯め込んできた貯金 (特に審査前 1 ヶ月半) がものを言ったのだと思う。

これまで熱心に指導していただいた波止先生をはじめ諸先生方に深く感謝いたします。

道場訪問

北九州居合道同好会

昭和33年北九州居合道同好会 旧穴生市民センターを本拠として発足。
現在は 教士八段堀江先生を筆頭に4箇所で稽古しております。
永犬丸西市民センター・穴尾市民センター・上津役市民センター・香月スポーツセンターで、会員は稽古のしやすい時間と場所でどこに稽古に来てもいいようになっています。

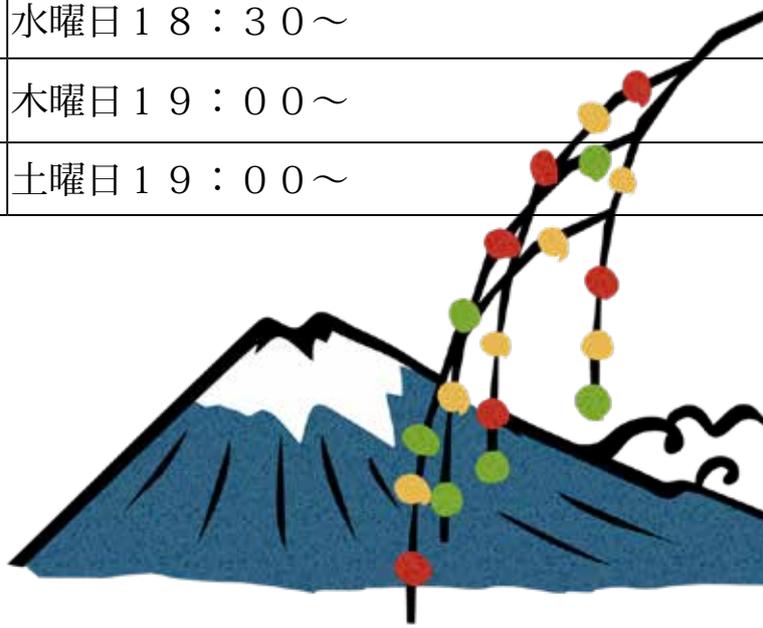
毎年開催されています日本屈指の北九州大会は北九州居合道同好会が主催で行われていて、会員総出で運営に携わっております。

北九州居合道同好会の会員数は50人を上回る会員を有しており、北九州周辺は当同好会で担当しております。

剣士の層も厚く、下は小学生から八段までそろって稽古しております。
また場所的に難しい場合などは個別に指導したりなども対応されてること。



永犬丸西市民センター	月曜日 18:30～
穴尾市民センター	水曜日 18:30～
上津役市民センター	木曜日 19:00～
香月スポーツセンター	土曜日 19:00～



コラムー編集後記

先日北九州居合道同好会に取材したときに、上田先生の刀の拵こしらえが目につき色々お話を伺いました。

なんか洗練された鍔でデザインも素敵なので伺いましたら、なんと、この鍔（写真）も自作されたそうです。

また、鞘もサメ皮などを貼り、漆を塗り、鐙の金具などもうまくはめ込み、漆をかけて、なんともいい色合いの拵こしらえに仕上がっています。

改めて見ると日本刀の拵こしらえも、立派なアートだなあとつくづく感じました。

皆さんも稽古会などで、是非上田先生の拵こしらえをご覧ください。2017年は丁酉（ひのと・とり）で「果実が完熟した状態」なのだそうです。

また、酉年は「運氣を取り込む」年だそうです。

皆様の本年のご多幸をお祈り申し上げます。



© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第126号 平成29年1月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847